

こども

ブックスタート
事業

絵本の配布は検討しているのか
本市に適した事業の実現を目指す



西村敦議員(公明党)

赤ちゃんが絵本を通して楽しい時間を分かち合うブックスタート事業は、全国の自治体で取り組みが進んでいるが、本市の取り組みと今後の在り方について市の見解を問う。また、本市では現在行っていない絵本の配布は検討しているのか。

答 本市のこども館では、絵本の読み聞かせ事業を実施しており、今後は、新しい本や大型絵本の購入など、参加者の意見を聴きながら事業を進めていく。また、現在、本市では本の配布は行っていないが、本の配布を行っている他市の事例を参考とし、本市の状況に適したブックスタート事業の実現を目指していく。

子育て支援施設

施設が近くにはない親子への支援は
関係部署と連携図り検討していく



国松ひろき議員(創生市川)

本市には、子育て支援施設(親子つどいの広場、地域子育て支援センター及びこども館)が自宅の近くにはない地域が存在する。このような地域の親子のために、タクシー料金を助成するなど、何らかの支援が必要と考えるが市の見解を問う。

答 市内に合計27カ所ある子育て支援施設の設置場所は地域によって偏りがあるため、今後、地域ごとの乳幼児人口の動向等を見極めながら、施設の再配置や増設等を検討していきたい。また、親子で外出する際の負担を軽減するための支援については、関係部署と連携を図りながら、今後検討していきたいと考えている。

こども

障がい児・医療的
ケア児への支援

保育園入園に際しての配慮は
別定員枠を設けて入園機会を増やす



浅野さち議員(公明党)

自治体においては、障がいや医療的ケアの有無によらず、安心して子育てができる環境の整備が必要と考えるが、障がい児、医療的ケア児が保育園へ入園する際の環境整備、支援体制について、市の見解を問う。

また、当該児童の兄弟や家族への支援も重要と思うが、兄弟の優先的な保育園入園をどのように考えているのか。

答 令和4年4月より当該児童に定員枠を設け、入園機会を増やす予定である。併せて、受け入れ体制拡充のための補助金、人材確保対策等も進めていく。また、兄弟の保育園入園についても、家族に最善のサポートができるよう検討していく。

こども送迎
ステーション

生活リズムへの影響 市の考えは
環境の変化が大きく配慮が重要



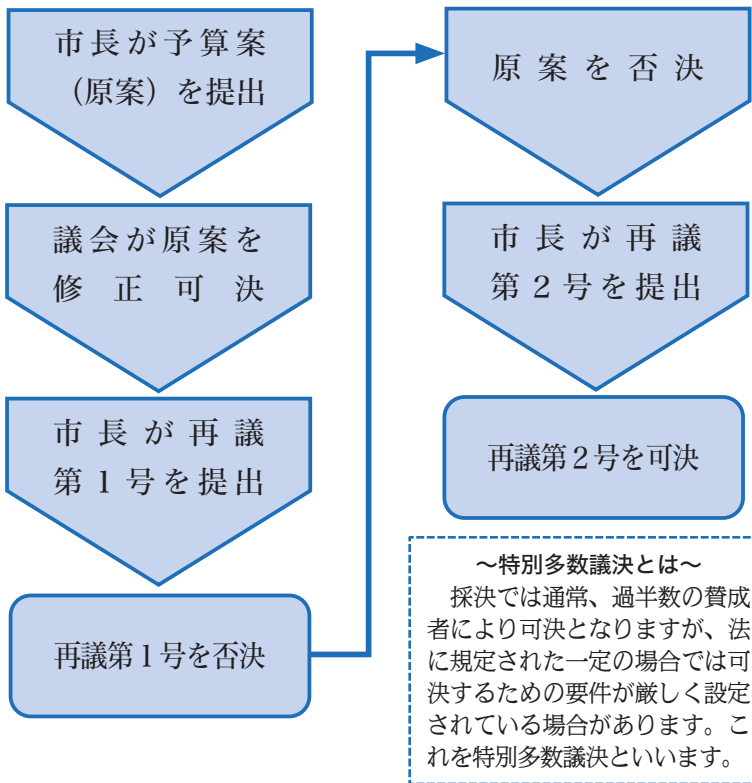
廣田徳子議員(日本共産党)

市は令和4年4月、行徳駅前にこども送迎ステーションを開園することである。そこで、送迎バスにおける児童の安全面への対応及び生活リズムへの影響について市の見解を問う。

答 送迎バスには運転士の他、保育士等を1名以上配置すると共に、バスの仕様は国のガイドラインに準拠したものとするなど様々な対策を講じて児童の安全面に配慮する。また、児童にとっては送迎があることで環境が大きく変化するため、生活リズムへの配慮が非常に重要である。そこで、送迎や保護者への引き渡しの際は、児童の様子を詳細に引き継ぐ等の対応を行う。

再議第1・2号について

◆再議第1・2号の流れ◆



〔再議とは〕
再議とは、議会の議決を受けた市長が、これに異議があるとして議会に対し再審議を求める制度です。再議には、一般再議(議決に異議がある時の再議)、越権・違法の議決や選挙に関する再議・再選挙、義務費の支出に関する再議など、複数の類型があります。今定例会において市長より提出された再議のうち、再議第1号は一般再議、再議第2号は義務費の支出に関する再議にそれぞれ分類されます。なお、否決された条例や予算については一般再議の対象とはならないとされていますが、否決された予算に義務費が含まれる場合は、義務費の支出に関する再議の対象となります。

〔今定例会における再議について〕
市長より提出された議案第43号「令和3年度市川市一般会計補正予算(第10号)」(以下、原案)について、一部の議員より「パワーハラスメント調査委員会報償金を削除した修正案が提出され、採決の結果、修正案及び修正した部分を除く原案が賛成者多数で可決されました。これを受けた市長はこの議決に異議があるとして、再議第1号を提出し、市議会は、「先の議決のとおり決することに賛成か」を採決することとなりました。

再議により、修正案及び修正した部分を除く原案を可決するためには、出席議員の3分の2以上の賛成者が必要(特別多数議決のため議長も採決に参加)となりますが、採決の結果、賛成25人、反対17人で所定の賛成者数に達しなかったため否決されました。

再議第1号が否決されたことから、改めて原案について採決を行いました。賛成17人、反対24人となり賛成者少数で否決されました。

否決された原案には、義務費が含まれていたことから、市長は再議第2号を提出し、採決の結果、全会一致で可決されました。

※再議第2号の審議では、原案のうち義務費のみが対象となるため、原案における義務費以外の予算(政策的経費)は審議の対象に含まれません。

懲罰特別委員会の設置

12月定例会において、10名の議員から松井努議員に対する懲罰動議が提出され、懲罰特別委員会が設置されました。

委員長 細田 伸一
副委員長 石原よしのり

委員

長友 正徳	小山田直人
鈴木 雅斗	国松ひろき
石原たかゆき	清水みな子
中町 けい	浅野 さち
高坂 進	西村 敦
松永 鉄兵	荒木 詩郎
岩井 清郎	



スマホ
パソコン
で
録画
ライブ

ライブ中継は

「市川市議会ホームページ」から
市川市議会では、本会議の様子をインターネットでライブ中継しています。

録画配信は

「YouTube」から
YouTube「市川市議会公式チャンネル」では、過去おおむね1年間の本会議の様子をご覧いただけます。

市川市議会中継